

第22回 OECC 海外環境協力セミナー開催のご案内
生物多様性保全に係る国内外の取組みと戦略
--温暖化の次に来る国際的潮流--

2010年10月、生物多様性条約締約国会議（COP10）が名古屋で開催されます。締約国である日本は、国内の生態系保全に責任を持つと同時に、国際社会に対しても生物多様性保全に向けた約束を果たしていくことになります。では、生物多様性とはどのような概念でしょうか。なぜ今産業界が取組みを始めているのでしょうか。生物多様性の定義、COP10の概要に加え、重要な役割を担う企業の実績や、ホスト国となる日本政府が国際社会に提案する内容、さらには締約国会議を経て、我が国の自然環境保全施策がどのような局面を迎えるのか。条約が内包する「自然保護」と「経済性」という2つの側面に焦点をあて、具体的な取組みと合わせて様々な観点から議論するセミナーを開催します。

日時：平成22年1月18日（月）13:30～17:00
場所：メルパルク東京6階 ラ・リュミエール
〒105-8582 港区芝公園2-5-20
Tel: (03)3433-7211

講師：名古屋市立大学 准教授 香坂 玲 氏
環境省 参与 黒田 大三郎 氏
日本経団連自然保護協議会 企画部会長
石原 博 氏

プログラム：別紙参照

参加費：OECC 会員無料、
非会員 1,000 円
(当日お支払いください。)

定員：60名
お申込み：下記をご明記の上、
seminar@oecc.or.jp までお申込み
ください。

- 1) 会社・団体名
- 2) 部署・役職
- 3) お名前、
- 4) 連絡先（住所/TEL/E-mail)

〆切：2010年1月14日（木）〆切後の
お申込みは、電話でお問い合わせください。



【交通のご案内】
●JR 浜松町駅（北口）/（南口）徒歩約8分
●モノレール 浜松町駅（北口）徒歩約8分
●地下鉄 芝公園駅（都営三田線）A3出口徒歩約2分
大門駅（都営浅草線・大江戸線）A3出口徒歩4分

主催・お問合せ先

主催：（社）海外環境協力センター研修部会（部会長 青山 俊介）

お問合せ先：（社）海外環境協力センター-OECC セミナー担当 岩上

TEL:03-5472-0144 FAX:03-5472-0145 E-mail:seminar@oecc.or.jp

プログラム：

13：30

開会挨拶：(社)海外環境協力センター 研修部会長 青山 俊介
(株)エックス都市研究所 取締役 特別顧問

13：35～14：25

講演：生物多様性を巡る国内外の動向

名古屋市立大学大学院 経済学研究科 准教授 香坂 玲 氏

講演概要：

生物多様性というと、言葉の定義や、種の数などの科学的な議論になりがちである。科学的な警鐘は、条約の成立時に大きな役割を果たして以来、継続して条約の重要な要素ではあるが、条約の主眼は「紙の上での文言をどのように実施していくのか」という、実践（Implementation）と、その過程で南北の折り合いをどのようにつけていくのかに移行している。

生物多様性の定義から、その用語を使って、どのような事象が問題とされ、各国と関係団体がどのような主張をしているのか整理していく必要がある。端的には、生物多様性は環境や科学の問題であると同時に、国際社会や経済の問題でもある。そのためには、政府、地方自治体、企業、市民、それぞれの立場からの参画が不可欠である。特に、産業界については締約国会議でも参画が遅れていることが指摘されている。

面積や排出量という「量」が中心となる気候変動と比べると、生物多様性は生活感など「質」が問題となる。「義務」としてとらえるのではなく、差別化のチャンスとしていくことが大事である。COP10 に向け、企業、NGO、学会が集まり、意見を集約していく過程では、それぞれが「聞く忍耐」と「聞いてもらう工夫」が必要となり、今回はコミュニケーションの在り方を今一度振り返る良いきっかけとなろう。

14：25～16：00

(途中休憩)

講演：生物多様性条約 COP10 に向けた日本の取組と展望

環境省 参与 黒田 大三郎氏

講演概要：

2010年10月愛知県名古屋市において生物多様性条約第10回締約国会議（CBD/COP10）が開催される。生物多様性に関する現在の世界共通目標である「2010年目標」の次の戦略目標、持続可能な利用を促進するため「SATOYAMA イニシアティブ」の構築、企業活動における生物多様性の主流化を目指す「ビジネスと生物多様性」など COP10 の主要テーマや国連・国際生物多様性年に関する国内外の動きを示す。

16：00～16：40

講演：生物多様性に関する産業界の取組み

日本経団連自然保護協議会 企画部会長

住友信託銀行（株）企画部社会活動統括室 審議役 石原 博 氏

講演概要：

生物多様性に関する産業界の取り組みの現状と今後の展開について、「日本経団連自然保護協議会」の活動を中心に説明する。

1. 協議会の活動は「日本経団連自然保護基金」を通じて行う NGO に対する資金支援と、協議会加盟企業における自然保護活動のレベルアップ、そして企業と NGO のパートナーシップの3つに集約される。協議会の活動内容の実際やこれまでの活動実績、主な活動事例

を紹介するとともに、この資金メカニズムが持つ特徴などについて解説する。

2. 2009年3月に公表した「日本経団連生物多様性宣言」について、宣言をまとめた経緯や宣言の内容を紹介しながら、その要点を解説する。
3. 今年10月に開催されるCOP10を控えて、協議会の今後の活動方針や活動予定などについて紹介し、産業界のみならず、広く国民全般に対して、生物多様性問題への参画を呼びかける。

16:40~17:00 総合質疑応答

17:00 閉会